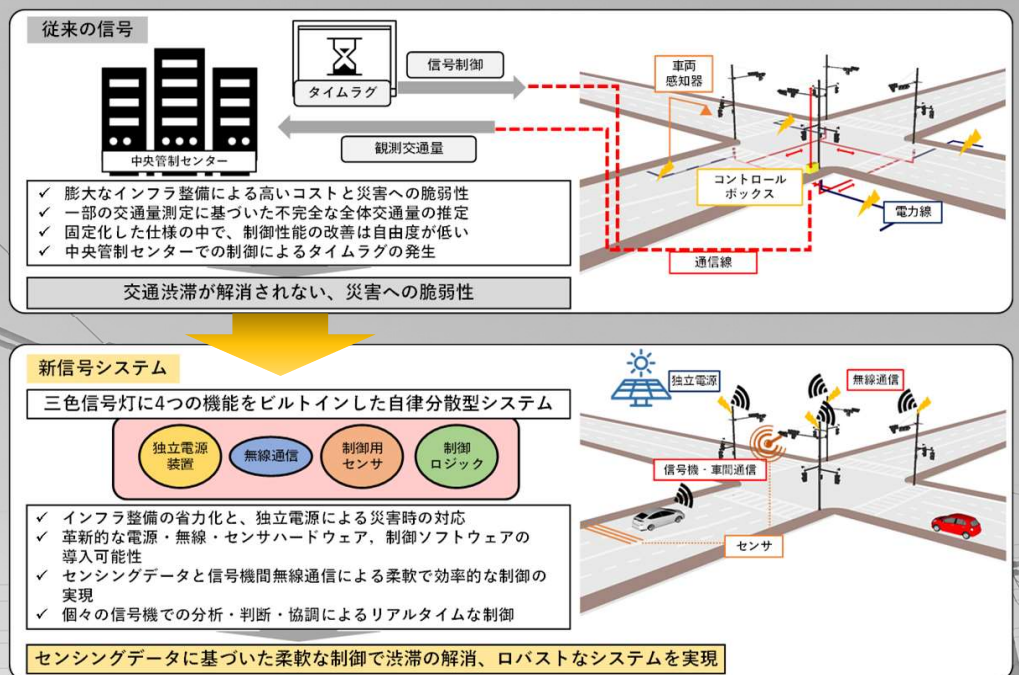


現在普及している信号機の一部には、交通の流れをよりスムーズにするために、通行量などに応じて信号が青になる時間などを調整する信号制御の仕組みが導入されています。

しかし現在の仕組みは、**設置や維持にコスト**がかかるだけでなく、**性能の点でもまだ改善の余地がある**と考えられます。

本研究では、**最新のセンシングや通信技術を用いた新しい発想**に基づく信号機を開発し、信号機の**設置コスト・維持コストの削減**や、**よりスムーズな交通の実現**を目指しています。



# 自律分散型信号システムに関する研究開発

一般財団法人 トヨタ・モビリティ基金の支援を受けて、次世代の信号システムの開発に取り組んでいます。

